

[横浜市民ギャラリー]
 平成 28 年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団／
 西田装美株式会社共同事業体]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1 (旧「職員厚生施設いせやま会館」)(平成 26 年 10 月～)
構造・規模	鉄筋コンクリート 4 階建 (地下 1 階～地上 4 階) 竣工：昭和 62 年 (築 26 年)
敷地・延床面積	専有延床面積 3, 4 2 8 m ²
開館日	昭和 39 年 4 月

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

横浜市民ギャラリーが、市民の“主体的な文化芸術活動拠点”として横浜のアートシーンの活性化に寄与する施設となるために、28年度においては、リニューアルして間もない施設の認知度や存在感を高める事を念頭においた施設運営を実施しました。美術分野だけに限らない幅広い層を対象とした事業プログラムの企画や、インターネットや館内及び送迎車内モニターを利用した事業や施設周知、丁寧なお客様対応の徹底等、沢山の市民の皆さまに施設を「知っていただく」「楽しんでいただく」ための努力を怠らずにやってきました。アンケートや現場でのお客様とのコミュニケーションの中にもその効果が窺われ、第 3 期指定管理者としての最初の年度として、順調な取組ができました。

【総合的な方針】

1 文化芸術活動拠点としての機能の強化

モニター設置やエントランスの情報コーナーの整備など、創作活動を行う市民へのサポートや文化芸術を楽しむ人達が文化芸術情報を得るための環境を整えたほか、幅広いジャンルを取り入れ、美術愛好家にのみならず様々な人達が参加するプログラムを実施することで、文化芸術活動拠点としての機能を強化してまいりました。

2 市民文化活動や創造活動に対する支援の強化

展覧会開催前の打合せや、実際の展示、撤去時に、当ギャラリーのスタッフによる的確で丁寧なサポートを行うほか、広報での催事情報周知など利用者の身になった施設貸出を心がけ、市民の文化活動を支える体制を整えました。

3 次世代を担う人材の育成の強化

子供向けのアトリエ講座に加え、「横浜音祭り2016」とリンクした、若手芸術家支援や子ども対象事業を行うなど、次世代の人材育成事業を強化して参りました。特に若手芸術家支援については美術と音楽がクロスオーバーした新しい試みも実施し、次世代育成とともに、文化芸術拠点施設として魅力あるコンテンツを発信いたしました。

4 質の高い施設運営及び管理の実施

展覧会を運営するための利用者への適確なアドバイスは勿論のこと、専門知識を持つ管理スタッフがきめ細やかな施設内の環境管理に努め、過年度のデータを鑑みながら、効率的で最適な空間をお客様へ提供してまいりました。

(2) 28年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

「文化芸術活動拠点としての機能」、「市民の文化活動への支援」、「次世代育成」、「質の高い施設運営管理」、以上の4つを強化ポイントと掲げ、共同事業体である財団と西田装美株式会社のそれぞれの専門知識を活かしたきめ細やかな施設運営を行った結果、満足度・実績数等、業務全般においてほぼ目標を達成することができました。

① 事業について

芸術文化拠点施設として歩んできた横浜市民ギャラリーの歴史を踏襲し、その原点である「今日の作家展」をリスペクトした「新・今日の作家展」を開催、50年余りの活動の中で蓄積した収蔵作品を紹介した「コレクション展」や、ホームページや広報誌でのアーカイブ紹介なども併せて市民に改めて施設の役割を認識してもらおう取組をいたしました。

展覧会事業には、ワークショップやトークイベントなどの要素を付加したほか、講座事業についても、クラフトワークや舞台美術などニーズを捉えた試みを企画し、幅広い層が参加できるような取組で、横浜市民ギャラリーの歴史を踏襲しつつも新ギャラリーの新しい魅力を積極的に打ち出していきました。入場者数、満足度など目標数値は全て達成できました。

② 運営について

施設の立地条件の悪さをカバーするべく、接遇研修や日々の業務の確認など常に懇切丁寧なお客様対応を心がけたほか、サイン等の改善や誰もが入館しやすくするためのバナーの設置、清潔な館内の維持など、お客様が「また利用したくなる施設」を目指した運営を実施しました。満足度等で

高い数値を獲得しており、ほぼ目標を達成しております。

③ 管理について

共同事業体の専門技術者の敏感なモニタリングによるこまめな設備管理を行い、快適で安全な施設管理を行いました。過年度の実績値をもとにしたデータ管理に基づく効率的な機器の運用により、光熱水費等の削減を行い、経済性と快適性の両立を実現しました。

④ その他について

横浜市の文化施設として市の文化施策である「横浜音祭り 2016」に積極的に関わってまいりました。チラシの配架やエントランス及び送迎車内のモニターでの告知動画の配信に加え、発信性の高い自主企画を実現し、同フェスティバルの賑わいに貢献いたしました。また、フェスティバルへの参加が、美術以外の層への当施設のアピールとなり、施設内での大きな賑やかしにもなったことなど、シナジー効果の高いフェスティバル期間とする事ができました。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 発信性のある自主事業の実施について

<p>[目指す成果]</p> <p>歴史ある展覧会を実施し、市民へ多様な美術の鑑賞機会を提供します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>歴史を尊重しながら今日活躍する作家を紹介したこと、また親しみやすいテーマでコレクション展を開催したことにより、幅広い層の市民が来場しました。いずれも出品作家が出演する関連企画の充実を図り、美術に親しみ理解を深める機会を提供しました。積極的な広報の効果もあり、目標を上回る成果をあげることができました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●自主企画展の 年1回以上の 開催</p>	<p>[達成指標]</p> <p>現在のアートシーンを紹介する展覧会の実施</p> <p><input type="checkbox"/>新・今日の作家展 2016</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 4,500名</p> <p><input type="checkbox"/>関連企画 2事業</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>新・今日の作家展 2016「創造の場所—もの派から現代へ」 (展示室1、B1)</p> <p>「今日の作家展」という歴史ある展覧会名の復活にあたり、<もの派>に焦点を当てる「創造の場所—もの派から現代へ」を開催。「今日の作家展」に出品された斎藤義重と榎倉康二の2作品、菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸の新作により構成し、歴史を重んじつつ新たな作家を紹介することで幅広い層に興味をもっていただける展覧会となりました。</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 5,656名(達成)</p> <p><input type="checkbox"/>関連企画6事業7回実施(達成)</p> <p>(9/22、9/25、10/1、10/2、10/9×2、10/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/22 アーティストトーク 出演：池内晶子、鈴木孝幸 これまでの制作と本展出品の新作についてお話いただきました。 ・9/25 学芸員によるギャラリートーク

	<input type="checkbox"/> 顧客満足度 4.0 以上 市民ギャラリーの所蔵作品を紹介する展覧会の実施 <input type="checkbox"/> コレクション展2017 <input type="checkbox"/> 入場者数 3,500 名 <input type="checkbox"/> 関連企画 2 事業 <input type="checkbox"/> 顧客満足度 4.0 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・10/1 上映会《存在と殺人》(1998-1999 監督・脚本菅木志雄) 横浜美術館周辺で撮影された菅木志雄氏初監督作品を上映しました。 ・10/2 講演会「もの派の造形思想の中核としての菅木志雄」 出演：千葉成夫(美術評論家、中部大学教授) 菅木志雄氏の初期から現在までの制作について話が展開しました。 ・10/9 クロージングイベント 菅木志雄 アクティベーション、池内晶子 “絹糸を切る” 菅氏のアクティベーションでは石や紙、紐などを用いて、ものの構築と解体が繰り返されました。池内氏の“絹糸を切る”では新作がふたつに分かれ、イベント前の作品とは異なる表情を見せました。 ・10/29 YCAG横浜音祭り2016リレーションシップ「B1コンサートMONO-石田泰尚-」(展示室B1)入場者：118名 <input type="checkbox"/> 顧客満足度 4.5(達成)
●収蔵作品を活用した展覧会の年1回以上の開催	コレクション展2017「季節をめぐる」(展示室1、2) 展覧会名を「季節をめぐる」とし、春夏秋冬の四季に描かれた/制作されたもの、また各季節を感じさせる作品95点を紹介しました。油彩、日本画、版画、写真、素描、漫画を通じ、様々な技法であらわされた四季や、季節によってうつろう風景の表情や各技法による表現の多様性をお楽しみいただきました。併せて特集展示1「馬場構男の横浜百景」、特集展示2「戦後のひと・まち一常盤とよ子・奥村泰宏」を開催しました。 <input type="checkbox"/> 入場者数 5,131 名(達成) <input type="checkbox"/> 関連企画 3 事業 4 回(3/4、3/11、3/12、3/18)(達成)	<ul style="list-style-type: none"> ・3/4 アーティストトーク「リトグラフと私と馬場構男」 出演：園山晴巳(版画家・出品作家) 出品作家でもある園山晴巳氏に、自身の作品や大学時代の師・馬場構男氏について版や道具を用いながらリトグラフを軸にお話しいただきました。 ・3/11 学芸員によるギャラリートーク ・3/12、18 鑑賞サポーターによるトーク <input type="checkbox"/> 顧客満足度 4.6(達成)
●「今日の作家展」のWEB公開を目的とし	■「今日の作家展」の未整理の記録の整理 <input type="checkbox"/> 関連作家等へのインタビュー	■「今日の作家展」開催一覧表を作成し、「新・今日の作家展 2016」でパネル展示しました。 <input type="checkbox"/> 3 名実施(菅木志雄、池内晶子、鈴木孝幸)し、許諾を得られた

<p>たアーカイブの実施</p>	<p>一の実施 インタビュー実施 2名</p>	<p>2名分を「新・今日の作家展 2016」の会場で上映、web で公開しました。(達成)</p>
<p>●収蔵作品等の積極的な公開とアーカイブの実施</p>	<p>□収蔵作品の作家をピックアップし、インタビューの実施 インタビュー実施 1名</p>	<p>□2名実施(浅見信夫、常盤とよ子)し、「コレクション展 2017」の会場で上映、web で公開しました。(達成)</p>
<p>●横浜市民ギャラリーあざみ野との企画連携</p>	<p>■横浜市民ギャラリーあざみ野との企画連絡会議の実施と、同テーマによる展覧会を企画し観覧者が桜木町一あざみ野を回遊することを目指す。平成29年度の実施に向け検討</p> <p>■「コレクション交換展」の共同開催 平成30年度の実施に向け検討</p>	<p>■あざみ野と企画連絡会議の実施 同テーマで同時期に展覧会を実施するべく調整しましたが、同時期開催が不可能となったため、現代美術の展覧会をリレー展という形で開催し、平成 29 年度のヨコハマトリエンナーレを盛り上げるという形での連携に見直しました。</p> <p>■平成 30 年度の実施に向け検討しました。</p>
<p>●インターン制度の発足</p>	<p>□インターン参加 1名 学芸員や教育普及者、実技指導者を目指している学生を対象としたインターン制度の発足</p>	<p>□1名 (達成) 4月～5月に若手パーカッショニスト兼 ASKA アートスクール 幼児芸術総合クラス講師1名をインターンとして受け入れました。また、7月に高校1年生2名、1月に中学校2年生2名の職業体験を受け入れました。</p>
<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>□「横浜音祭り」に寄与する事業を展開 1事業</p>	<p>□2事業実施 (達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/27-29 YCAG ARTIST INCUBATION PROGRAM 「音の展示 水の旋律」(展示室B1) 入場者数：374名。 出演：野川菜つみ(マリンバ&パーカッション) 「水」をテーマにしたサウンドエキシビジョン。「水の音」をコラボしたインスタレーションと、様々な楽器の展示とそれを用いたライブパフォーマンスを開催。kuniko kato arts project INC. との共同プロジェクト。 ・ 10/29 YCAG 横浜音祭り2016リレーシヨシップ「B1 コンサートMONO-石田泰尚-」(展示室B1)※前掲(4-(1)-ア) 入場者：118名、出演：石田泰尚、曲目：J.S. バッハ／無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調、他 神奈川フィル・ソロコンサートマスターの石田泰尚氏によるヴァイオリン独奏コンサート。コンサートはライブ配信し50

<p>●鑑賞サポーターの育成及び活用</p>	<p>□「フォトヨコハマ2017」との連携 1事業</p> <p>□コレクションを解説するサポーターの活用 育成研修実施 年1回</p>	<p>名が同時視聴を行いました。ライブ配信の映像を音祭り期間中は公開し、再生回数は5,000回を超えました。</p> <p>□2事業(達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2/12 「映画『未来をなぞる 写真家・畠山直哉』上映+トーク」講師：畠山容平(映画監督) 参加者数 37名、顧客満足度 4.7 フォトヨコハマの開催に合わせ、大人のアトリエ講座で写真家を追ったドキュメンタリー映画を上映し、監督によるトークを実施しました。 2/15-26 「映画の中のヨコハマ」(展示室1階)、「マグナムシネマ」(展示室B1階)を共催。 「フォトヨコハマ」への参加を市民ギャラリーから呼びかけ、民間ギャラリー10件が参加しました。また、2/23-26のCP+開催期間中はパシフィコ横浜、BankARTを廻る巡回バスの走行、スタンプラリーのゴール設置、BayBikeの臨時ポートの設置に協力しました。「画廊散歩」では1～3月号で写真展をクローズアップして掲載してフォトヨコハマを盛り上げたほか、「画廊散歩」や「アートヨコハマ」の広告掲載や、町内会の掲示板や伊勢山皇大神宮内でのチラシ配架依頼等で広報協力も行いました。 <p>□育成研修4日間(1/14、28、2/4、11)を経て、コレクション展会期中に、ボランティア・メンバー15名が3/12、18の2日間に分かれ、各自が選んだ出品作品の魅力を語りました。またコレクション展会場で「鑑賞サポーターによる作品紹介シート」を配布しました。(達成)</p>
------------------------	--	---

イ 次代を担う子どもの創造性教育事業の実施について

<p>[目指す成果] 作品発表の場、文化芸術の体験の場を提供し、様々な経験を得て、自立の仕方を学べる場とします。</p> <p>[成果についての振り返り] 移転開館して3年目となり、子どものための事業が地域に定着してきました。子どもの成長に合わせたきめ細やかなプログラムをおこない、子どもたちが自分自身の力で取り組み、やり遂げ、自信をつけることを手助けできました。</p>		
<p>[取組内容] ●「横浜市こどもの美術展」の実施と新たな取組</p>	<p>[達成指標] □横浜市こどもの美術展</p>	<p>[実施内容と達成状況] 横浜市こどもの美術展 色とりどりの花や元気な絵で会場が溢れました。アーティストの康夏奈さんの特別展示では、クレヨンで描いた菜の花の中をめぐらが動き回る作品が人気でした。会場で作った手作りの「どうぶつお面」をかぶって歩く多くの親子連れでにぎわいました。</p>

<p>●子どもの文化 芸術の体験の 場の提供と新 たな取組</p>	<p>□入場者数 8,000名</p> <p>□出品数 2,300点</p> <p>□関連企画 1事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>■<テーマ部門>の新設 テーマ部門「花を描こう」 の新設</p> <p>■ワークショップスペースの 設置と、主に若い世代のサポ ーターの募集、育成</p> <p>□育成研修実施 年1回</p> <p>■「横浜音祭り」と関連したア ーティストとの交流の場の 提供</p> <p>□ハマキッズアートクラブ</p> <p>□親子対象講座 年3回</p> <p>□年長児対象講座 年2回</p> <p>□小学校低学年対象講座 年3回</p>	<p>□展覧会入場者数 15,116名、音楽会入場者数 530名 ボランティア参加者数 59名 計15,705名(達成)</p> <p>□出品数 花部門 907点、自由テーマ部門 2,419点 計3,326点(達成)</p> <p>□関連企画3事業(達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/29-8/7 自由参加ワークショップ「どうぶつお面をつく ろう」 ・7/29-8/7 康夏奈展「もぐらの世界 私の世界」 ・7/30、31 「夏のこども音楽会」 <p>□顧客満足度 4.6(達成)</p> <p>■テーマ部門を新設しました。28年度は「花」部門を設定。</p> <p>■自由参加ワークショップ「どうぶつお面をつくろう」 中学校美術部11名、引率者2名及び職場体験で受け入れた高 校生2名を含む延べ59名が「どうぶつお面をつくろう」のボ ランティアに参加しました。</p> <p>□7/10 育成研修(達成)</p> <p>■7/30、31 「夏のこども音楽会」 2日間で延べ54名の子どもたちによるピアノとエレクトーン の演奏と講師のデモンストレーション演奏が館内に響き渡り ました。</p> <p>□親子対象講座 3回(講師:三ツ山一志(造形教育家))(達成) (①4/24「トートバッグにお絵描きしよう」参加者41名、顧客 満足度4.9、②7/9「土粘土であそぼう」参加54名、顧客満 足度4.9、③2/11「ぺったんアート」、参加44名、顧客満足度 4.9)</p> <p>□年長児対象講座 2回(講師:三ツ山一志(造形教育家))(達成) (①5/14「紙でどうぶつをつくろう」参加者17名、顧客満足度 4.9、②1/22「スーパーカーをつくろう」、参加者25名、顧客 満足度4.8)</p> <p>□小学校低学年対象講座 3回(達成) (①6/12「うごくしくみでつくろう」講師:大竹美佳(造形作家)、 参加者28名、顧客満足度4.8、②9/10「スチロールアート」 講師:宇田川純子(アーティスト)、参加者23名、顧客満足度 5.0、③11/12「タイコを鳴らそう」講師:貞岡幸男(太鼓マイ スター)、参加者28名、顧客満足度4.8)</p>
---	---	--

<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>□小学校高学年対象講座 年2回</p> <p>□横浜芸術アクション事業関連講座 年1回</p> <p>□参加者数 200名</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>□「横浜音祭り」に寄与する事業を展開 1事業実施</p>	<p>□小学校高学年対象講座 2回(達成)</p> <p>(①8/21「おどろき盤をつくろう!」講師:橋本典久(アーティスト)、参加者21名、顧客満足度4.5、②12/10「油絵に挑戦!」講師:東麻奈美(アーティスト)、参加者23名、顧客満足度4.7)</p> <p>□横浜芸術アクション事業関連講座 1回(達成)</p> <p>(11/12「タイコを鳴らそう」講師:貞岡幸男(太鼓マイスター)、参加者28名、顧客満足度4.8)</p> <p>□参加者数 計304名(達成)</p> <p>□顧客満足度 4.8(達成)</p> <p>□2事業実施(①7/30、31「夏のこども音楽会」、②11/12「タイコを鳴らそう」)(達成)</p>
<p>●横浜美術館、横浜市民ギャラリーの子ども事業との連携</p>	<p>□3館で事業連携をし、講座内容や対象年連を考慮した講座の開催 企画会議 年1回実施</p> <p>■3館での相互広報の体制作り 応募の落選者へ他館の講座を知らせる仕組みづくりを行う。</p>	<p>□3館それぞれの講座の方針や課題等を共有し、アイデア出しや講師の紹介等を行いました。 企画会議 1回(達成)</p> <p>■応募落選者への通知に他館の講座のお知らせを掲載しました。</p>
<p>●親子講座の開催</p>	<p>□親子で造形を楽しむ講座を開催 年2回実施</p>	<p>□親子対象講座 3回 ※再掲(4-(1)-イ)(達成)</p> <p>(①4/24「トートバッグにお絵描きしよう」、②7/9「土粘土であそぼう」、③2/11「ぺったんアート」参加者44名、顧客満足度4.9)</p>
<p>●教育機関等への支援の実施と新たな取組</p>	<p>□アートティーチャーズ・プロジェクトの取組を共有し、<美術の教師のための鑑賞レクチャー>や<教師のためのワークショップ>等の造形・鑑賞の指導の実施 年1回実施</p>	<p>□年2回(5/18 中学校美術教師対象講座「アートアニメーション」、7/29 全教師対象講演「幼児の造形活動について」(講師:三ツ山一志))(達成)</p>
<p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム</p>	<p>■横浜市芸術文化プラットフォームへの協力全面協力をする。</p>	<p>■全面協力し2校実施しました。</p> <p>(①10/25、26、11/2 小学校6年生2クラス70名対象、アニメーション、川口恵理「コマ撮りアニメーションをつくろう」、</p>

<p>『学校プログラム』への協力</p> <p>●鑑賞教室等のアウトリーチ等の実施</p>	<p>□小学生、中学生、高校生を対象としたアーティストトークや鑑賞教室の実施</p> <p>1 事業実施</p>	<p>②11/11 中学校3年生4クラス132名対象、デザイン、柿木原政広、講演『『想い』をつなぐデザイン』)</p> <p>■他施設からの依頼により、美術のジャンルで絵画・造形の講師を2件紹介しました。</p> <p>□1校実施(11/11 中学校3年生4クラス132名対象、デザイン、柿木原政広、講演『『想い』をつなぐデザイン』)(達成)</p>
---	--	---

ウ 市民アーティストの創造活動支援の実施について

<p>[目指す成果]</p> <p>実技と教養の講座を開催し、展覧会事業に加え、“美術”をめぐるアプローチを多く提供して美術ファンのすそ野を広げます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>創作を主とする実技講座と、レクチャーや上映会といった教養講座を織り交ぜ、市民が多様な切り口から美術にアクセスできる内容としました。昨年度からのリピーターに加え、新規の利用者を迎えることができ、幅広い層に向けたアプローチにも成果が表れました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●利用団体等が行う活動の支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体への丁寧な相談・助言 ・利用団体の展覧会についての積極的な広報 <p>●文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■事前打ち合わせを実施</p> <p>■<ヨコハマ・アートナビ><アートヨコハマ><横浜画廊散歩>での事前広報</p> <p>■ヨコハマ・アートナビへの情報提供</p> <p>□アートヨコハマ 年3回発行</p> <p>□横浜画廊散歩 月1回発行</p> <p>■ホームページでの展覧会の紹介 会期初日にホームページ上で公開</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■展覧会開催1か月前に事前打ち合わせを実施したほか、随時相談に応じ、展覧会終了までサポートしました。</p> <p>■利用団体の展覧会情報を市民ギャラリーの情報誌やホームページ上に掲載するとともにLOD化されているヨコハマ・アートナビへ情報提供するなど、積極的な広報支援に努めました。</p> <p>■ヨコハマ・アートナビへの情報提供 毎月実施</p> <p>□アートヨコハマ 年3回発行(6月、10月、2月発行)(達成)</p> <p>□横浜画廊散歩 月1回発行(達成)</p> <p>■市民ギャラリーを利用する団体すべての展覧会期初日に会場の様子を撮影し、ホームページで公開するとともにSNSでも発信し、広報に協力しました。</p>

<p>・文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p>	<p><input type="checkbox"/>大人のためのアトリエ講座</p> <p><input type="checkbox"/>つくって学ぶ 年25回</p>	<p>大人のためのアトリエ講座</p> <p><input type="checkbox"/>つくって学ぶ 年25回（全6講座）（達成）</p> <p>（①4/21、28、5/12、19「オープNSTAジオ 人体を描く」講師：清野晃代（画家）参加者数16名、顧客満足度4.5、 ②5/26、6/2、9、16「植物を描くーアクリル絵画による表現」講師：高木彩（画家）参加者数16名、顧客満足度4.5、 ③6/3、10、17、24、7/1、8「古典絵画をまなぶ一金箔技法とテンペラ描画」講師：上野淑美（絵画修復士）参加者数16名、顧客満足度4.9、④10/6「日本の美・和菓子で表す秋」講師：重田親人（和菓子しげた）参加者数19名、顧客満足度4.9、⑤11/17、24、12/1、8、15、22「よく見て描くー細密画家と学ぶ、デッサンと着彩」講師：石田淳一（画家）参加者数18名、顧客満足度4.8、⑥1/26、2/2、9、16「オープNSTAジオ 人体を描く」講師：坂本龍幸（画家）参加者数20名、顧客満足度4.7）</p>
	<p><input type="checkbox"/>きいて学ぶ 年4回</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数 200名</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 4.0以上</p>	<p><input type="checkbox"/>きいて学ぶ 年4回（全4講座）（達成）</p> <p>（①4/10『福島桜紀行』上映＋トーク ドキュメンタリーの現場で」講師：鉦井番（美術家・映像作家）参加者数40名、顧客満足度4.5、②11/6「YCAG音祭り2016リレーシヨンシップ 2 舞台美術をひもとく」講師：鈴木俊朗（舞台美術家）参加者数38名、顧客満足度4.8、③12/4「レクチャー＋ワークショップ 手製本でつくる2017年の手帳」講師：本間あずさ（製本家/「空想製本屋」店主）参加者数22名、顧客満足度4.7、 ④2/12「映画『未来をなぞる 写真家・畠山直哉』上映＋トーク」講師：畠山容平（映画監督）参加者数37名、顧客満足度4.7）</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数 242名（達成）</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 4.6（達成）</p>
<p>・横浜市の文化芸術事業との関連講座の開催</p>	<p><input type="checkbox"/>「横浜音祭り」に寄与する事業を展開 1事業実施</p>	<p><input type="checkbox"/>1事業実施（達成）</p> <p>11/6 「YCAG音祭り2016リレーシヨンシップ 2 舞台美術をひもとく」講師：鈴木俊朗（舞台美術家）実際に使用された舞台デザイン模型（プロトタイプ）数点の展示とともに舞台美術家が現場の裏側や舞台美術について語り、音楽ファン、美術ファン両方が楽しめる講座となりました。</p>
<p>●美術情報の提供及び広報の充実</p>	<p><input type="checkbox"/>「横浜音祭り」に寄与する事業を展開 1事業実施</p>	<p><input type="checkbox"/>1事業実施（達成）</p> <p>11/6 「YCAG音祭り2016リレーシヨンシップ 2 舞台美術をひもとく」講師：鈴木俊朗（舞台美術家）実際に使用された舞台デザイン模型（プロトタイプ）数点の展示とともに舞台美術家が現場の裏側や舞台美術について語り、音楽ファン、美術ファン両方が楽しめる講座となりました。</p>
<p>・横浜美術館との情報連携の</p>	<p>■広報連携の実施</p>	<p>■「画廊散歩」や「アートヨコハマ」では横浜美術館の事業をピックアップし、横浜市民ギャラリーあざみ野とはそれぞれ</p>

<p>強化</p> <p>・ホームページ、SNS等の活用による充実したタイムリーな情報発信</p> <p>・広報誌の定期的な発行</p> <p>●市民参画等の協働の推進による美術振興の担い手育成</p> <p>・文化芸術の情報場の強化及び集客キャンペーンの実施</p>	<p>■横浜市の文化政策上重要な事業については、映像情報等を交えたコーナーを設置し、広報する会期に合わせて紹介</p> <p>■空室情報の更新 随時</p> <p>■展覧会情報 会期初日に展覧会情報を紹介</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に情報誌を発行</p> <p>アートヨコハマ 発行回数：年3回</p> <p>ヨコハマ・ギャラリー・マップ 発行回数：年1回</p> <p>横浜画廊散歩 発行回数：月1回</p> <p>■文化芸術の情報場として強化 情報コーナーの充実</p> <p><input type="checkbox"/>キャッチコピーによるキャンペーンの実施 年1回</p>	<p>の情報誌で相互に事業を紹介したほか、他館の展覧会会期に合わせてチラシやポスター掲示を効果的な場所に設置し、SNSでも発信しました。</p> <p>■エントランス・送迎車内に新たにモニターを設置し、「横浜祭り」をはじめとして、横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野、黄金町バザールなどの企画展等の映像を流し、併せてチラシを配架して広報しました。</p> <p>■空き室情報は随時更新しました。</p> <p>■利用団体の展示作業が終了し次第、会場の様子を撮影し、ホームページ上で紹介しました。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に情報誌を発行し、ホームページと連動させ、民間ギャラリーを含む横浜市内の展覧会情報を市民に提供しました。</p> <p>①アートヨコハマ <input type="checkbox"/>3回(6、10、2月)(達成) <input type="checkbox"/>発行部数：10,000部/回 <input type="checkbox"/>配布箇所：1,000箇所配布(学校ポスト550箇所含む)</p> <p>②ヨコハマ・ギャラリー・マップ <input type="checkbox"/>1回(7月)(達成) <input type="checkbox"/>発行部数：15,000部 <input type="checkbox"/>配布箇所：1,000箇所配布(学校ポスト550箇所含む)</p> <p>③横浜画廊散歩 <input type="checkbox"/>発行回数：12回(毎月発行)(達成) <input type="checkbox"/>発行部数：4,500部/月 <input type="checkbox"/>配布箇所：220箇所(毎月)</p> <p>■チラシラックの整理に努め、各地の公募展の案内を集めた「公募要項コーナー」を新たに作り、欲しい情報が入手しやすい工夫をしました。</p> <p><input type="checkbox"/>「展覧会はどなたでも無料でご覧いただけます」というキャッチコピーを親しみやすいイラストとともに掲載した大型パネルを作成して館外入口に設置し、気軽に立ち寄ることのできる雰囲気を演出しました。(達成)</p>
--	---	--

<p>・横浜市民ギャラリーあざみ野との共同講座の実施</p>	<p>■「美術品の扱い方」、「展覧会のつくり方」、「ワークショップのハンドリング」等の専門的な知識を得られる講座の実施 平成 29 年度以降の実施に向け検討</p>	<p>■検討の結果、平成30年度以降の実施へ変更し、29年度も継続して実施に向けて検討する事となりました。</p>
<p>・自主企画展におけるボランティアの活用</p>	<p>□ボランティアの活用（特にシニア層、中高生） 年1回</p>	<p>□ボランティアの活用 年4回(達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/6-10 「福島桜紀行」展覧会受付ボランティア 参加者 延べ19名 ・5/27-29 「音の展示-水の旋律」展覧会受付ボランティア 参加者 延べ14名 ・7/29-8/7 「横浜市こどもの美術展」自由参加ワークショップ「どうぶつお面をつくろう」のサポート 参加者 延べ59名(中学美術部11名含む) ・3/16、18 「コレクション展2017」鑑賞サポーター 参加者 15名 <p>10代の若年層・シニア層を中心に延べ計107名がボランティアへ参加しました。</p>

エ 創造活動を介した人々のネットワーク形成について

<p>[目指す成果]</p> <p>ネットワークの形成により市民施設、機関との関係性を育み、文化芸術活動を市民にとって身近なものとして受け取ってもらえるようにします</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>計画通り、市内の美術関係者と連携しながら情報誌の発行をしてまいりました。特に「横浜画廊散歩」や「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」の発刊は、横浜市内の美術振興の一翼を担っております。また横浜美術館の展覧会情報を館内エントランスのモニターで流すなど、他施設との広報連携とともに来館者へわかりやすい美術情報を伝える取組を実施いたしました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●関連施設、民間ギャラリー、利用団体、ボランティア、アーティスト、学校教育間での相互交流の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■関連施設とのネットワークインターネット情報、印刷物相互配布 通年</p> <p>■民間ギャラリーとのネットワーク</p> <p>□横浜画廊散歩発行 月1回</p> <p>□ヨコハマ・ギャラリー・マップ 発行 年1回</p> <p>■展覧会のホームページへの掲載</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■関連施設とのネットワークを形成し、ホームページへ施設情報の掲載、展覧会情報や印刷物の相互提供を行いました。</p> <p>■民間ギャラリーとのネットワーク</p> <p>□横浜画廊散歩発行 月1回(達成)</p> <p>□ヨコハマ・ギャラリー・マップ発行 年1回(7月)(達成)</p> <p>■展覧会情報のホームページへの掲載実施</p> <p>情報誌の発行を通じて民間ギャラリーとのネットワークを形</p>

	<p>■利用団体との交流 貸館利用打合せ実施 通年</p> <p>□ボランティアの活用 横浜市こどもの美術展、コレクション展にて募集(2事業)</p> <p>□アーティスト アトリエ講座の実施 通年 展覧会の実施 年3回</p> <p>□学校教育 アートティーチャーズ・プロジェクト 年2回 アウトリーチ 年1回</p>	<p>成しました。ホームページの施設案内の地図上にギャラリーの外観写真を新たに掲載し、ホームページをより充実しました。</p> <p>■貸館利用打合せを通年で実施しました。</p> <p>□ボランティアの活用 4事業(達成) 「福島桜紀行」「音の展示-水の旋律」「横浜市こどもの美術展2016」「コレクション展2017」にて募集し、延べ107名が参加しました。</p> <p>□アーティスト ・アトリエ講座を通年(全29回)で実施しました。 ・展覧会を年3回実施しました。(「横浜市こどもの美術展2016」「新・今日の作家展2016」「コレクション展2017」) (達成)</p> <p>□学校教育 ・アートティーチャーズ・プロジェクトを2回実施しました。 (5/18、7/29)(達成) ・アウトリーチを2校4日間実施しました。 (小学校3日間、中学校1日)(達成)</p>
--	--	--

(2) 運営について

ア 創造活動の施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●公平・公正かつホスピタリティの高い貸出業務</p> <p>・多くの市民に利用してもらえるような公平・公正で、透明性の高い施設貸出</p>	<p>□全展示室利用団体の抽選会 年1回</p> <p>□1～5室利用団体の抽選会 月1回</p> <p>■抽選会後の空き室 先着順</p> <p>■当日の利用申込み等の緊急時の、安全を確認した上での対応</p> <p>■利用団体からのアンケートを運営に活かすために職員内で情報共有する。</p>	<p>□全展示室利用 30年度全展示室利用 抽選日：3/25 抽選参加団体：15団体、決定団体：12団体(実施)</p> <p>□1～5室の利用 抽選日：毎月10日(実施)</p> <p>■空き室の申込 抽選終了後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>■今年度の実績はありませんでしたが、日常的に当日利用申込みへの対応可能な体制を取りました。</p> <p>■利用団体からのアンケートを職員内で情報共有しました。アンケートの意見を反映し、利用状況によって掲示物の表記方法を変更するなど運営に活かしました。</p>

<p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p> <p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p> <p>・エリアを通じた施設周知</p> <p>・横浜市民ギャラリーあざみ野との連携による情報提供</p>	<p>□利用団体からのアンケート回収率 80%以上</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティングの開催月1回</p> <p>■展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援</p> <p>□アンケート満足度 4.0以上</p> <p>■「アートヨコハマ」への開催情報の掲載</p> <p>■会場風景をホームページで紹介。展覧会情報をFacebook、twitterに掲載</p> <p>■利用者ごとの柔軟な対応</p> <p>■近隣・コミュニティとのリレーションシップによりエリアを通じた施設周知を図る。近隣・コミュニティとの連絡会の開催</p> <p>■広報連携の実施</p> <p>■空き室情報の共有の実施</p>	<p>□利用団体からのアンケート回収率 93%(達成)</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティング月1回開催(4/5、5/10、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/10、2/7、3/7)(達成)</p> <p>■利用者の経験等を鑑みながら、きめ細やかな運営サポートを行い、利用者が安心して展覧会が開催できるよう支援しました。</p> <p>□アンケート満足度 4.7(達成)</p> <p>■「アートヨコハマ」のほか「画廊散歩」に開催情報を掲載し、ホームページでも公開しました。また、「ヨコハマ・アートナビ」への情報提供を行いました。</p> <p>■全ての展覧会の初日に会場風景を撮影し、ホームページで紹介したほか、展覧会情報をFacebook、twitterに掲載するなど、利用者の展覧会への広報支援を行いました。</p> <p>■利用者からの作品の展示に関する相談に乗ったほか、年齢層が高い利用団体には脚立に乗る作業を手伝うなど、利用者ごとに柔軟に対応しました。</p> <p>■町内会・伊勢山皇大神宮・横浜成田山・横浜市従会館と情報交換を密に行いました。伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただいたほか、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただき自主事業の周知にご協力いただいたほか、町内会での夏祭クイズにて市民ギャラリーに関する問題を出題していただくなど、エリアを通じて施設周知を図りました。</p> <p>■横浜市民ギャラリーあざみ野と相互に情報誌への掲載、チラシ配架、ポスター掲示、SNS発信を行ったほか、館内エントランスモニターでの告知映像放映等の広報連携を実施しました。</p> <p>■今年度は着手できませんでした。次年度以降に着手します。(未達)</p>
---	---	---

イ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●適切な施設情報発信等による認知度向上への取組強化</p>	<p>■お客様が利用しやすいように施設情報を適切に発信し、施設の認知度アップに取り組む。</p>	<p>■ホームページやSNSで展覧会情報、自主事業情報、空き室状況、送迎車情報を発信し、施設の認知度アップに取り組みました。</p>

<p>●空き室の有効利用等の利用促進のための取組の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページでの施設情報周知 ■ 全 展 覧 会 を Facebook、twitter で紹介 ■ 利用案内の発行 ■ 積極的な施設貸出の営業 ■ ホームページでの空き室情報の随時アップ ■ 美術関係者・団体とのネットワーク拡大により個別に営業をかけられる体制の構築 ■ 抽選に外れた全利用者への代替案の提案 ■ 空室の直前割引の実施 利用日より6か月を切った利用申請 50%減免 ■ 空室の個別の営業活動の実施 過去利用団体への利用案内 ■ アトリエに特化した広報物の作成 過去利用団体への利用案内 ■ 美術関連の学校、学部への周知・営業活動の実施 ■ 学生の芸術活動の育成 展覧会主旨等を精査の上、共催事業として100%減免 ■ ジャンルを超えたアーティストの創造活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者が必要とされる施設情報を考察し、展示室・アトリエのバーチャルツアーをホームページに掲載しました。 ■ 全展覧会をFacebook、twitterで紹介しました。 ■ 利用の手引きを改訂し、利用団体へ積極的に配布しました。 ■ 次年度の申込がない団体には積極的にお声掛けをしたり、会期が迫った空き室についてはチラシを作成し、美術系大学に送付したほか、館内に配架したりしました。 ■ ホームページで空き室情報を随時アップし、最新の情報を提供しました。 ■ これまでの施設運営で蓄積した美術関係者・団体とのネットワークを利用し、利用促進のための営業を行いました。 ■ 抽選に外れた利用者に対しても、別日程での利用を提案するなど、施設の利用を促進するよう努めました。 ■ 今年度は直前割引に該当する利用申請はありませんでした。 ■ 過去利用団体へ改訂した「利用の手引き」を送付し利用を促したほか、次年度の申込がない団体には積極的にお声掛けしました。 ■ アトリエに特化したチラシを作成し、過去利用団体へ改訂した「利用の手引き」とともに送付したほか、アトリエ利用促進の告知動画を作成し、館内エントランスモニターで流すなど、利用を促しました。 ■ 会期(利用日)が迫った空き室のチラシを作成して美術系大学に送付し、利用を促しました。 ■ 今年度は学生の芸術活動育成のための割引に該当する利用申請はありませんでした。 ■ 5/27-29 YCAG ARTIST INCUBATION PROGRAM 「音の展示 水の旋律」(展示室B1) 入場者：374名 出演：野川菜つみ(マリンバ&パーカッション) 「水」をテーマにしたサウンドエキシビジョン。「水の音」をコラージュしたインスタレーションと、様々な楽器の展示とそれを用いたライブパフォーマンスを開催。kuniko kato arts project INC. との共同プロジェクト。
---------------------------------	--	---

<p>●利用率の向上と目標指標の達成</p>	<p>平成 28 年度目標</p> <p>□来館者目標：25 万人</p> <p>□展示室：85%</p> <p>アトリエ：30%</p> <p>駐車場目標：20% (展示・撤去日の貸館団体の優先利用も含む)</p>	<p>□来館者：246,168 人(未達)</p> <p>□展示室：91%(達成)</p> <p>アトリエ：43%(達成)</p> <p>駐車場：28%(展示・撤去日の貸館団体の優先利用も含む)(達成)</p>
<p>●要望・苦情への適切な対応とその共有の実施</p>	<p>■職員ミーティングでお客様への対応の確認 随時</p> <p>■お客様へのアンケートの実施と共有 通年</p> <p>■苦情・要望の分析と共有 随時</p> <p>■速やかな対応と再防止のための情報共有 随時</p> <p>■横浜市との情報共有 随時</p> <p>■改善事例のホームページ公開 随時</p>	<p>■お客様対応の確認について日常的に議題にあげ、常に高いサービス実現のために職員一同取り組みました。</p> <p>■お客様へのアンケートは全職員に回覧、意見交換などを実施し、情報共有及びサービス向上に努めました。</p> <p>■苦情・要望については直ちに職員間で共有し、意見交換の上、対応等を決定して速やかに対応するとともに再発防止に取り組みました。</p> <p>■横浜市との情報共有を随時行いました。</p> <p>■送迎車の定員増や本数増などの改善事例をホームページで公開しました。</p>
<p>●芸術を通じた障がい児・者支援の実施</p>	<p>□発達障がい児・者を中心にした作品展 1 事業</p>	<p>□ 8/17-21 「社会福祉法人青い鳥設立50周年記念展 ひろげよう ぼくのつばさ わたしのつばさ展」(展示室B 1、1)</p> <p>(達成)</p> <p>入場者：1,334名(共催)</p> <p>関連企画：ギャラリートーク、アートワーク(8/20)</p> <p>ワークショップ(8/17~21)</p> <p>市民講座(6/4、8/18、10/15)</p> <p>造形講座(6/18、6/25、11/19、12/3)</p>
<p>●市民の芸術活動の深化のための取組の実施</p>	<p>■市民が交流し、情報交換や知識収集のできる環境の整備 閲覧スペースの設置 通年</p>	<p>■エントランスに机・椅子・チラシラック等を設置し、各地の展覧会情報を見ることのできるスペースとして通年設置しました。</p>
<p>●宮崎町親和会(町内会)や伊勢山皇大神宮との協力体制構築</p>	<p>■町の美化や町内行事の参加だけでなく、一緒に施設のPR等を実施</p> <p>■宮崎親和会での事業周知</p>	<p>■町の美化行事への参加だけでなく、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただいたほか、町内会での夏祭クイズにて市民ギャラリーに関する問題を出題していただくなど、一緒に施設のPR等を実施しました。</p> <p>■町内会掲示板へのチラシ掲示により、自主事業の周知に通年</p>

<p>●送迎車の最適な運用の実施</p>	<p>通年</p> <p>■伊勢山皇大神宮の参拝客へのアピール 通年</p> <p>□伊勢山皇大神宮とのエリア周知活動の取組 1事業</p> <p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を走行。原則、障がい者、高齢者を優先とするサービス。アクセス改善の一助とする。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行</p> <p>■館内、ホームページで周知</p> <p>■運行データの収集</p>	<p>でご協力いただきました。</p> <p>■伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただき、ポスター掲示とともに参拝客へのアピールを通年行いました。</p> <p>□館内エントランスモニターにて伊勢山皇大神宮で実施されたワークショップの告知を行ったほか、同時期に両エリアで貸館利用者の展覧会を開催したことに協力し、エリア周知に取り組みました。(達成)</p> <p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を走行しました。土日祝日だけではなく平日も20分間隔で運行したほか、9:45、18:00の便を増便し、アクセス改善の一助としました。特に配慮が必要なお客様からのお問い合わせには柔軟に対応し、安心してご来館いただけるようにしました。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行しました。</p> <p>■館内、ホームページ、野毛ちかみちの掲示板に乗り場や時刻表など掲載したほか、チラシとポケット時刻表を作成し、桜木町駅の観光案内所で配布していただくなど送迎車の周知に努めました。月ごとの送迎車運行予定表のホームページ掲載と本日の時刻表を館内に掲示し、よりこまやかにお知らせしました。</p> <p>■運行データの収集を毎月行いました。</p>
----------------------	---	--

ウ 市民ギャラリー収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示の実施</p>	<p>■作品の定期的な点検確認</p> <p>■作品データの更新</p> <p>□コレクション展実施</p> <p>□webでの収蔵作品の紹介 12点</p>	<p>■作品の点検を12/20、21、25、26、1/5、9に行いました。年間を通じI P Mの手法に基づき収蔵庫や館内の環境をモニタリングし、状況を把握しました。</p> <p>■作品データの更新を継続的に行いました。作品リストの分類を新たに見直し、作品番号の創設と修復レベルの入力を行いました。作品の画像データは960件入力しました。</p> <p>□コレクション展2017「季節をめぐる」(展示室1、2)(達成) 入場者数 5,131名 関連企画 3事業4回(3/4、3/11、3/12、3/18)</p> <p>□webでの収蔵作品紹介 12点(達成) 宮本昌雄《横浜山手春秋譜》、横山晃治《川は流れて港ヨコハマ》、田島奈須美《浜ッ子》、安保健二《日本丸メモリアル</p>

<p>●資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースの継続的な充実及び台帳の継続的な管理と収蔵作品の公開の実施</p>	<p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースを継続的に更新</p> <p>□コレクション展実施</p> <p>□webでの収蔵作品の紹介 12点</p>	<p>パーク》、島田正次《花月園競輪場》、北岡文雄《横浜中華街》、中谷龍一《山手風景》、馬場禱男《秋の日本大通》、天笠義一《横浜港》、長宗希佳《称名寺を眺む》、小作青史《夕暮れの牧場(こどもの国)》、大川三千司《港の赤煉瓦倉庫》</p> <p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースを継続的に更新しました。</p> <p>□コレクション展2017「季節をめぐる」(展示室1、2)(達成) 入場者数 5,131名 関連企画 3事業4回(3/4、3/11、3/12、3/18)</p> <p>□webでの収蔵作品紹介 12点(達成) 宮本昌雄《横浜山手春秋譜》、横山晃治《川は流れて港ヨコハマ》、田島奈須美《浜ッ子》、安保健二《日本丸メモリアルパーク》、島田正次《花月園競輪場》、北岡文雄《横浜中華街》、中谷龍一《山手風景》、馬場禱男《秋の日本大通》、天笠義一《横浜港》、長宗希佳《称名寺を眺む》、小作青史《夕暮れの牧場(こどもの国)》、大川三千司《港の赤煉瓦倉庫》</p>
--	---	--

エ 運営組織の構築及び組織的な運営

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な運営組織体制と人材の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="376 1211 855 1800"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>事業責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>運営管理責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設運営担当</td> <td>4人</td> <td>職能・派遣</td> </tr> <tr> <td>施設管理責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>施設管理副責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>警備チーフ</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>3人</td> <td>展示撤去・講座 開講日等</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応する。</p>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	職能・派遣	施設管理責任者	1人	契約	施設管理副責任者	1人	契約	警備チーフ	1人	契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	3人	展示撤去・講座 開講日等	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="906 1211 1401 1800"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>事業責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>運営管理責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設運営担当</td> <td>4人</td> <td>契約・派遣</td> </tr> <tr> <td>施設管理責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>施設管理副責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>警備チーフ</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>4人</td> <td>展示撤去・講座 開講日等</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応しました。</p>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	契約・派遣	施設管理責任者	1人	契約	施設管理副責任者	1人	契約	警備チーフ	1人	契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	4人	展示撤去・講座 開講日等
項目	人数	備考																																																																		
館長	1人	固有																																																																		
事業責任者	1人	固有																																																																		
運営管理責任者	1人	固有																																																																		
学芸・事業	3人	固有																																																																		
施設運営担当	4人	職能・派遣																																																																		
施設管理責任者	1人	契約																																																																		
施設管理副責任者	1人	契約																																																																		
警備チーフ	1人	契約																																																																		
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																																		
短期アルバイト	3人	展示撤去・講座 開講日等																																																																		
項目	人数	備考																																																																		
館長	1人	固有																																																																		
事業責任者	1人	固有																																																																		
運営管理責任者	1人	固有																																																																		
学芸・事業	3人	固有																																																																		
施設運営担当	4人	契約・派遣																																																																		
施設管理責任者	1人	契約																																																																		
施設管理副責任者	1人	契約																																																																		
警備チーフ	1人	契約																																																																		
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																																		
短期アルバイト	4人	展示撤去・講座 開講日等																																																																		

<p>●組織内の情報共有及び主要人材の能力担保</p> <p>組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的に実施すると共に、職員の能力担保のためOJT及び定期的な研修等を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 原則常時5名以上 ・設備管理スタッフ 開館時：設備1名、警備2名、清掃1名 4名以上 閉館時：警備1名 <p><input type="checkbox"/>定例会の実施 月1回</p> <p><input type="checkbox"/>研修 年2回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 原則常時5名以上配置しました ・設備管理スタッフ 開館時：設備1名、警備2名、清掃1名 計4名以上配置しました 閉館時：警備1名 <p><input type="checkbox"/>定例会月1回実施(達成) (4/5、5/10、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/10、2/7、3/7)</p> <p><input type="checkbox"/>研修 年2回(達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜美術館子どものアトリエ個別支援学級学校プログラム研修参加(7/6-1/20) ・接遇研修(2/20) ・文化財の虫菌害・保存対策研究会、救急救命講習、コンプライアンス研修、シックハウス対策会、公共建築物保全研修、ハラスメント研修、バリアフリー研修、人権啓発研修、全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会に参加し、職員間で情報共有しました。
---	---	---

オ 本市の重要施策を踏まえた取組について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●個人情報保護についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■個人情報は規定及びマニュアル等に基づく適切な取り扱い ■具体的な業務についてルール化し、研修や定期的なミーティングでスタッフの個人情報取扱いに対する意識を高める。 ■メールやFAX、郵便物の送付時の個人情報漏えいの防止 ■個人情報の適切な管理の徹 	<ul style="list-style-type: none"> ■個人情報は施錠しての保管やパスワード等、規定やマニュアル等に基づいた取り扱いを行いました。 ■コンプライアンス委員を中心に研修や情報共有のミーティングを実施しました。 ■ダブルチェックの徹底等、個人情報漏えいの防止に最新の注意を払いました。 ■個人情報の適切な管理を徹底しました。

<p>●情報公開についての取組</p>	<p>底</p> <p>■規定に基づく適切な対応</p> <p>■事業計画書及び事業報告書の財団ホームページでの公開</p>	<p>■規定に基づき適切な対応を行いました。</p> <p>■事業計画書及び事業報告書を財団及び市民ギャラリーホームページで公開しました。</p>
<p>●人権尊重についての取組</p>	<p>■全ての人に開かれた施設として人権に配慮した運営や接遇の実施</p> <p>■横浜市主催の人権講習に職員が参加し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施する。</p> <p>□研修 年1回</p>	<p>■全職員が接遇研修を受講しました。また、人権研修の参加職員を通して人権について考え方を共有しました。</p> <p>■横浜市主催の人権講習に職員が参加し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施しました。</p> <p>□研修 年2回参加し、職員間で共有しました。(達成) (1/16、3/2)</p>
<p>●環境への配慮に関する取組</p>	<p>■環境への負荷の低減を意識した省エネルギー化、省資源化</p> <p>■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動方針」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」に基づいた施設管理</p> <p>□施設内での空気環境測定の実施 1回/2か月</p>	<p>■全職員が環境への負荷の低減を意識し、業務に支障のない範囲で省エネルギー化、省資源化に努めました。</p> <p>■環境対策について横浜市の施策に沿った施設管理を行いました。</p> <p>□施設内での空気環境測定の実施 1回/2か月(達成) (5/11、7/13、9/14、11/8、1/18、3/8)</p>
<p>●市内中小企業優先発注についての取組</p>	<p>■物品購入・委託等は、特別な専門性の必要なもの等の理由がない場合を除き、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」に登録された企業に発注</p>	<p>■業務に支障がない限り、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」での登録業者に委託・発注しました。</p>

カ 諸室の利用内容について

<p>[取組内容]</p> <p>●開館について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="320 1877 735 1973"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時～18時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="873 1877 1287 1973"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時～18時
開館日数	347日									
営業時間	10時～18時									
開館日数	347日									
営業時間	10時～18時									

●利用料金 について	□利用料金について				□利用料金について					
	展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)		展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)	
				入場無料	入場有料				入場無料	入場有料
	地下1階		170	5,000	10,000	地下1階		170	5,000	10,000
	1階		184	5,500	11,000	1階		184	5,500	11,000
	2階	全面	396	11,500	23,000	2階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
		B	171	5,000	10,000		B	171	5,000	10,000
	3階	全面	396	11,500	23,000	3階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
B		171	5,000	10,000	B		171	5,000	10,000	
全室		1,146	33,500	67,000	全室		1,146	33,500	67,000	
アトリエ				面積 (㎡)	区分利用料金	一日	アトリエ			
					10:00～13:30 14:00～17:30					
平日		148.6	6,500	12,000	平日		148.6	6,500	12,000	
土日祝			7,500	14,500	土日祝			7,500	14,500	
駐車場		30分100円		駐車場		30分100円				

(3) 管理について

ア 施設、設備の維持保全及び管理

<p>[取組内容]</p> <p>●P D C Aサイ クルに基 づく、計画的 で高品質な施設 管理業務の実 施</p> <p>●施設の安全・</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設・設備について高品質で 効率的な定期点検及び日常 点検の実施</p> <p>■施設(建築物)、設備、及び備 品の破損、不具合等の異常時 には、利用者の安全を確保す ると共に、施設の運営に支障 をきたすことのないように 適切な措置を講じ、速やかに 報告する。</p> <p>□設備の過失による運転停止 事故 0件</p> <p>■施設の状態を常に清潔に保</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■経験豊富な専門職員が定期的および日常的に点検し、利用者の 要望や急激な気候の変化に対応できるよう、施設設備の機能維 持に努めました。</p> <p>■異常時には直ちに対応できるよう施設管理職員と運営職員間 の連絡体制を整え、修繕履歴等のデータを共有・蓄積し、今後 に役立てるシステムにしました。</p> <p>□設備の過失による運転停止事故 0件(達成)</p> <p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利用できるよう</p>
---	--	---

<p>安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施</p> <p>●保守点検、備品管理、環境維持の実施</p> <p>●収蔵庫の適切な管理の実施</p>	<p>ち、利用者が快適に利用できるような、管理の実施</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.0以上</p> <p>□施設ハード面での過失による事故 0件</p> <p>■設備管理業務日誌での日常点検の通年の記録と共有</p> <p>■備品の適切かつ良好な状態での管理</p> <p>■廃棄物の排出量を把握し、減量や分別・リサイクルに努める。</p> <p>■空調管理の実施</p> <p>■収蔵庫内および収蔵庫周辺の定期的な清掃</p>	<p>な、管理を実施しました。</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.5(達成)</p> <p>□施設ハード面での過失による事故 0件(達成)</p> <p>■日誌や点検記録は担当職員と管理職で回覧共有し、保管しました。</p> <p>■安全で清潔な施設管理のために備品を常に良好な状態に保ちました。</p> <p>■環境対策の一環として常に廃棄物の排出量を把握した上で、減量やリサイクルに努めました。</p> <p>■美術品保護に必要な温湿度管理のためにデータを蓄積しながら空調管理を実施しました。</p> <p>■定期的に清掃し、美術品保護及び環境維持を行いました。</p>
---	---	--

イ 小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●効果的な小破修繕への取組</p> <p>●保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応</p> <p>●多角的視点からの小破修繕箇所の早期発</p>	<p>■施設管理に対する全職員の意識の向上</p> <p>■全職員及び横浜市との情報の共有</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデータ化</p> <p>■保守管理の専門技術を活かした、突発修繕への速やかな対応</p> <p>■定期点検や日常点検、横浜市の施設管理におけるガイドラインに沿った点検・報告等</p>	<p>■情報共有のほか会議で取り上げるなど、施設管理に対する全職員の意識の向上に努めました。</p> <p>■修繕に対する施設内での情報共有のほか、モニタリングや設備トラブル報告書を通して横浜市と共有しました。</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデータ化を行いました。</p> <p>■豊富な経験を有する共同事業体である専門職員を中心に、突発的な修繕を必要とされるときでも速やかに対処しました。</p> <p>■横浜市の施設管理におけるガイドラインだけではなく、インターネットや他施設の情報など、多角的な知見を得て業務に対応しました。照明設備や空調設備等においてこまめに管理</p>

見	の実施による修繕必要箇所 の早期発見・対応により施設 の長寿命化を図る。	し、不要な運転を減らすことで省エネだけではなく機械の長 寿命化につなげました。
---	--	--

ウ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 事故防止体制・緊急時のための方針と対策</p> <p>・ 警備スタッフ及び機械警備による切れ目のない万全の警備体制の実施</p> <p>・ 関連法規の遵守</p> <p>・ 警備計画及び報告書の作成と適切な報告の実施</p> <p>・ 施設内外への防犯対策の実施</p> <p>・ 救急セットやAED等の設置と十分な研修の実施</p> <p>● インフルエンザ等の感染症</p>	<p>■ 警備専門スタッフが午前9時から午後7時まで1階受付及び警備室へ常駐し、それ以外の時間帯である午後7時から翌午前9時までは機械警備にて万全の警備体制を実施する。</p> <p>■ 業務の基準に基づく、警備の実施と利用者の入退出の適切な管理</p> <p>□ 過失による事故 0件</p> <p>■ 業務を遂行する上で、定められた関連法規等を遵守する。</p> <p>■ 警備計画書及び巡回警備計画書の作成とそれに基づいた警備業務の実施</p> <p>■ 警備スタッフによる警備及び機械警備の業務日誌の作成と共有</p> <p>■ 警備スタッフによる、施設の駐車場だけではなく周辺道路への防犯対策の実施</p> <p>■ 救急セットやAEDの完備</p> <p>□ AED取扱い研修 年1回実施</p> <p>■ 毎日のAEDのセルフメンテナンスチェックの結果の確認</p> <p>■ 職員による施設内巡回による衛生管理の徹底</p>	<p>■ 人的警備、機械警備とも計画通り実施し、施設の安全を図りました。また、運用状況に応じて適切な警備を行いました。</p> <p>■ 業務の基準に基づき、来館者が安心・安全に施設を利用できるよう警備や管理を行いました。</p> <p>□ 過失による事故 0件(達成)</p> <p>■ 「消防法」「警備業法」等、定められた関連法規等を遵守しました。</p> <p>■ 警備計画書及び巡回警備計画書に沿った警備業務を実施し、安全な施設運営に努めました。</p> <p>■ 業務日誌を毎日作成及び回覧し、情報共有を図りました。</p> <p>■ 近隣の防犯対策の実施や交通状況への対処など、周辺道路に対しても対応し、も地域の一員としての責務を果たしました。</p> <p>■ 救急セット及びAEDを完備しました。</p> <p>□ AED取扱い研修 年1回実施(8/18)(達成)</p> <p>■ 毎日目視によるセルフメンテナンスチェック結果を確認しました。</p> <p>■ 衛生管理の意識を高く持ち、異常時には直ちに報告・対処できる体制にしました。</p>

<p>対策</p>	<p>■ インフルエンザ等の流行時における予防のための掲示の実施や消毒剤の設置</p> <p>■ 鳥インフルエンザへの留意と異常時の迅速な対応</p> <p>■ 汚物の処理にあたっての準備及び処理時の手袋・マスクの装着の徹底</p>	<p>■ インフルエンザ等の予防のための掲示を実施し、消毒剤を設置しました。</p> <p>■ 発生件数はありませんでしたが、異常時には対応できるよう鳥インフルエンザに留意しました。</p> <p>■ 汚物の処理にあたっては処理キットを備え、処理時の手袋・マスクの装着を徹底しました。</p>
-----------	--	--

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 緊急時の連絡体制・役割分担</p> <p>● 平常時の防災対策</p>	<p>■ 緊急時の対応を明確にし、緊急連絡網を作成し、市に提出する。</p> <p>■ 関連法規に基づいた届出等を行う。</p> <p>■ 危機管理マニュアルを作成し、災害時には、マニュアルに沿った対応ができるようにする。</p> <p>■ 全スタッフへの普通救命講習や訓練を実施し、日頃から防災意識を高める。</p> <p>■ 危機管理マニュアルに基づき、災害時に来館者を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行う。</p> <p>□ 消防訓練 年2回実施</p> <p>■ 自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行う。</p> <p>■ 町内会と防災関連の協議を行い、地域ぐるみの合同訓練等を提案することで地域社会での責務を果たす。</p>	<p>■ 緊急時に迅速に対応できるよう緊急連絡網を作成し、市に提出しました。</p> <p>■ 防火管理者を配置し、関連法規に基づいた届出等を行いました。</p> <p>■ 危機管理マニュアルを作成し、災害時に備えました。</p> <p>■ 全スタッフがAEDの操作や救命措置を行えるように訓練や講習を実施しました。</p> <p>■ 年2回それぞれ違う状況を想定し、災害時に安全に対応できるよう消防訓練を行いました。</p> <p>□ 消防訓練 年2回実施（8/18、2/3）（達成）</p> <p>■ 自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行いました。</p> <p>■ 町内会と定期的に会議を持ったほか、消火栓や器具などの設置場所を実際に確認するなど、有事に備えて責務を果たす体制を整えました。</p>
<p>● 災害発生時の取組</p>	<p>■ 関連法令、条例、業務の基準に基づき、来館者の安全確保を最優先とし適切に対応</p>	<p>■ 災害は発生しませんが、年に2回消防訓練をしたほか、地震発生時には館内点検を実施し、報告しました。</p>

<p>●帰宅困難者一時滞在施設としての準備等の災害時の取組</p>	<p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行う。</p> <p>■二次災害の発生防止措置の実施と、横浜市等との協議の上で適切な対応を行う。</p> <p>■訓練を通じ、全スタッフに対応の徹底を図る。</p> <p>□消防訓練 年2回実施</p> <p>■非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄</p> <p>■適切な情報収集による来館者や職員、施設の安全確保</p> <p>■災害鎮静後の危機管理マニュアルに基づく適切な対処と現状復旧体制の確保</p>	<p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行うため日常的に館長への情報集約を実施しました。</p> <p>■消防訓練実施時に消防署員から災害発生に対する心構えや事例をお話いただき、2次災害発生防止措置を図ることを再確認しました。</p> <p>■それぞれ違う状況を想定した2回の訓練では、スタッフの役割を変えて実施し、全スタッフに対応の徹底を図りました。</p> <p>□消防訓練 年2回実施(8/18、2/3)(達成)</p> <p>■災害は発生しませんでした。15人×3日分の非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄を整えました。</p> <p>■災害時には適切な情報収集を行うことをスタッフ内で確認しました。</p> <p>■災害鎮静後には危機管理マニュアルに基づき適切に対処し、現状復旧体制をとることをスタッフ内で確認しました。</p>
-----------------------------------	---	--

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用率の向上による利用料金収入の増加への取組</p>	<p>施設の利用率向上により安定した利用料金収入を得ることで経営の健全化に繋げる。</p> <p>□平成28年度目標額 11,500,000円</p>	<p>空き室の利用促進のためにチラシを作成し、美術系の大学へ案内を送るなどしましたが、利用率は昨年度と比較し、ほぼ変わりませんでした。</p> <p>□平成28年度利用料金実績 9,971,590円(未達)</p>
<p>●周知等による駐車場の利用料金収入の増加への取組</p>	<p>伊勢山皇大神宮等への周知活動の実施により駐車場の利用の増加を目指す。</p> <p>□平成28年度目標額 80万円</p>	<p>伊勢山皇大神宮に駐車場の空き状況を提供し、参拝客への周知を行いました。</p> <p>□平成28年度実績 1,311,100円(達成)</p>
<p>●助成金・協賛金・広告料収入の獲得</p>	<p>□助成金・協賛金 平成28年度目標額 30万円</p> <p>□広告料 平成28年度目標額 35万円</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得 助成金：1,277,000円(達成) 現物協賛：ピアノ・エレク トーンレンタル及び運搬費飲料 (2ケース)</p> <p>□広告料 平成28年度実績 45万円(達成)</p>
<p>●周知等による</p>	<p>□独自の事業周知の取組に加</p>	<p>ホームページやSNSを利用した周知に加え、財団の広報ネットワ</p>

<p>講座料収入の増加への取組</p> <p>●自動販売機の販売収入の増加への取組</p>	<p>え、財団の広報ネットワークや管理運営する美術系施設間と連携した周知等により事業参加者数の増加を目指す。</p> <p>平成 28 年度目標参加者数 大人のアトリエ講座 参加者 200 名 ハマキッズアートクラブ 参加者 200 名</p> <p>□客層の嗜好に合わせた内容を販売することで販売収入の増加を目指す。</p> <p>平成 28 年度目標額 24 万円</p>	<p>ークと連携したより広い媒体への周知や施設へのチラシ配架により、事業参加者数の増加を目指しました。</p> <p>平成 28 年度目標参加者数 大人のアトリエ講座参加者 301 名 ハマキッズアートクラブ参加者 315 名</p> <p>□毎月業者と打合せを実施し、来館者数や来館者層を予測しながら販売内容を決定することで販売収入の増加を目指しました。</p> <p>実績 475,858 円(達成)</p>
---	--	--

イ 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>指定管理料や施設利用料以外の収入の開拓と適切な支出管理</p> <p>●発注及び事務の効率化等による経費削減</p> <p>●適切な施設及び設備管理による経費削減</p>	<p>■横浜市に準じた経理規定に基づいた、支出を最小限に抑える取組の実施</p> <p>■事務用品の再利用化の推進</p> <p>■広報物の発送の効率化による経費の削減</p> <p>■計画的な経理処理による手数料の削減</p> <p>■施設・設備の効率的な運用による経費削減</p> <p>■施設・設備の現状把握と修繕計画による支出の平準化と修繕費の抑制</p> <p>■早期の修繕実施による長期における経費削減</p>	<p>■入札や見積合等、支出を最小限に抑える取組を実施しました。</p> <p>■分別した上、裏紙利用など、資源の再利用に努めたほか、会議等で職員の節約に対する意識を高めました。</p> <p>■発送計画を立て、作業日を集中させるなど、広報物の発送の効率化による経費の削減を実施しました。</p> <p>■計画的な経理処理により手数料の削減を心がけました。</p> <p>■過年度のデータをもとに細やかで効率的に設備運転を実施しました。特に電力のデマンド値が大きく下がりました。</p> <p>■日常的に共同事業体間の情報共有を密に行い、現状を把握したうえで計画的に修繕を行いました。</p> <p>■設備担当の日常点検だけではなく、全職員の意識を高め、不具合があれば迅速に報告・対処しました。</p>

<p>●職員の業務の効率化による経費削減</p>	<p>■職員会議や面談による職員の業務の効率化への意識の統一</p> <p>■業務の発注へのコスト意識及び職員の超過勤務削減による経費削減</p>	<p>■日常の勤務状況を踏まえた上で職員会議や面談により、職員の業務の効率化への意識統一を図りました。</p> <p>■入札見積合わせ等、経理規程に基づきながら契約発注をしたほか、平素から超過勤務削減への職員間の意識を高め、業務に対する経費削減に努めました。</p>
<p>●展覧会や講座等の事業にかかる経費削減</p>	<p>■作家や講師と協働での事業企画による経費削減</p> <p>■企業からの現物協賛の受入れ等による経費削減</p>	<p>■作家や講師に丁寧に事業の意義をつたえ共感していただく事で、経費の工夫など経済的にも協力していただきました。</p> <p>■事業の趣旨を理解していただいたうえで、企業からの現物協賛などの協力を受けることができ、結果として経費の削減に繋がりました。</p> <p>・ピアノ・エレクトーンレンタル及び運搬費、飲料2ケース</p>

(5) PDCAサイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	
<p>●日報及び月間事業報告書の作成・管理</p>	<p>■各種日報の作成</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管</p>	<p>■各種日報を作成し、担当部署及び管理職に回覧、情報共有を図りました。</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出しました。</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管しました。</p>
<p>●業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p>	<p>■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成し横浜市に提出</p> <p>■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成し横浜市に提出</p>	<p>■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成し横浜市に提出しました。</p> <p>■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成し横浜市に提出しました。</p>
<p>●業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）</p>	<p>■定期的にモニタリングを実施し、横浜市に運営状況の報告</p> <p>■自己評価の実施</p>	<p>■横浜市の担当者と毎月1回のモニタリングを実施し、運営状況を報告しました。</p> <p>■自己評価を実施しました。</p>

(6) その他

ア 他施設等との連携について

[取組内容]	[達成指標]	
<p>●保険及び損害</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費</p>

賠償の取扱い	<p> 険、レジヤ-・サービス施設 費用保険に加入 </p>	<p> 用保険に加入しました。 </p>
●関係法令の順 守	<p> ■業務を遂行するうえで、定め られた関係法令等を遵守 </p>	<p> ■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守しま した。 </p>
●市及び関係機 関等との連絡 調整	<p> ■横浜市とのモニタリングを定 期的に開催 </p>	<p> ■横浜市とのモニタリングを定期的に開催しました。 (5/27、7/12、8/23、9/15、10/14、11/22、12/15、1/18、 2/14、3/13、4/11) </p>

【別紙】自主事業一覧

No	実施 時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場者(人) (見込者数)	事業費 (千円)
1	9～10 月 9/22- 10/9	主催	新・今日の作家展 2016 「創造の場所-もの派から現代へ」 [関連事業] ・アーティストトーク (9/22) ・学芸員によるギャラリートーク (9/25) ・上映会 (10/1) ・講演会(10/2) ・クロージングイベント(10/9) (アートティーチャーズ・プロジ ェクト、アウトリーチ、横浜音祭 りに寄与する事業を含む)	展示室 B1、1	現在のアートシーンを 紹介する展覧会 出品作家：斎藤義重、榎 倉康二、菅木志雄、池内 晶子、鈴木孝幸	5,656 (4,500)	5,870
2	3月 3/3- 19	主催	横浜市民ギャラリーコレクション 展 2017「季節をめぐる」 [関連事業] ・アーティストトーク(3/4) ・学芸員によるギャラリートーク (3/11) ・鑑賞サポーターによるトーク (3/12、18) (アートティーチャーズ・プロジ ェクト、アウトリーチを含む)	展示室 1、2	市民ギャラリーの所蔵 作品を紹介する展覧会	5,131 (3,500)	3,100
3	2月 2/15- 26	共催	フォトヨコハマ 2017 関連展 写真展「MAGNUM CINE MA&映画の中のヨコハマ」	展示室 B1、1	「フォトヨコハマ 2017」に関連した写真展	3,292 (2,000)	-
4	7月～ 8月 7/29- 8/7	主催	横浜市こどもの美術展 2016 [関連事業] ・自由参加ワークショップ「どうぶ つお面をつくろう」 ・康夏奈展「もぐらの世界 私の世 界」 ・「夏のこども音楽会」(7/30、31) (横浜音祭りに寄与する事業を含 む)	展示室 B1、 1、2、 3	市内在住・在学の12歳 以下の幼児・自動を対象 とした無審査の公募展	15,116 (8,000)	2,677
5	4月～ 2月	主催	ハマキッズアートクラブ (横浜音祭りに寄与する事業を含 む)	アトリ エ	小学生以下の子どもを 対象とした造形講座	304名 (200)	856

			む)				
6	4月～ 2月	主催	大人のためのアトリエ講座 (横浜音祭りに寄与する事業を含む)	アトリエ	専門的な創作活動を体験する造形講座と、芸術文化各分野で活動している方を講師に招く聴講講座	242名 (200)	1,935
7	8月 8/17- 21	共催	「青い鳥」展覧会 [関連企画] ・ギャラリートーク(8/20) ・アートワーク(8/20) ・ワークショップ(8/17～21) ・市民講座 (6/4、8/18、10/15) ・造形講座 (6/18、6/25、11/19、12/3)	展示室 B1、1	障がい児・者のための展覧会	1,334 (500)	-
8	4月 4/6- 10	共催	「福島桜紀行」展覧会	展示室 B1	短編ドキュメンタリー 「福島桜紀行」上映と写真や紀行文の展示	620	-
9	5月～ 11月	主催	Y C A G横浜音祭り2016リレーション事業	展示室 B1	横浜音祭り連携事業	1,106 (全音祭り連携事業参加者数) (視聴7,215 「B1コンサートMONO-石田泰尚-」の配信映像視聴数)	963

平成28年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	153,491,000		153,491,000	153,491,000	0	横浜市より
利用料金収入	12,300,000		12,300,000	11,282,690	1,017,310	
自主事業収入	1,650,000		1,650,000	1,798,500	△ 148,500	
雑入	950,000	0	950,000	3,100,927	△ 2,150,927	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	240,000		240,000	475,858	△ 235,858	
その他(助成金・協賛金・広告・ ごみ袋代・コピー代等)	710,000		710,000	2,625,069	△ 1,915,069	助成金1,277,000、横浜音祭り負担金748,000
収入合計	168,391,000	0	168,391,000	169,673,117	△ 1,282,117	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	70,065,000	0	70,065,000	59,826,499	10,238,501	
給与・賃金	55,554,000		55,554,000	49,327,512	6,226,488	
社会保険料	9,211,000		9,211,000	6,893,000	2,318,000	
通勤手当	1,833,000		1,833,000	1,194,980	638,020	
健康診断費	83,000		83,000	95,508	△ 12,508	
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	54,000	6,000	
退職給付引当金繰入額	3,324,000		3,324,000	2,261,499	1,062,501	
事務費	5,118,000	0	5,118,000	9,524,862	△ 4,406,862	
旅費	300,000		300,000	194,509	105,491	
消耗品費	900,000		900,000	3,220,836	△ 2,320,836	展示室ワイヤー約77万、彫刻台用天板約40万、受付用椅子約25万等
会議賄い費	100,000		100,000	8,071	91,929	
印刷製本費	600,000		600,000	299,192	300,808	
通信費	900,000		900,000	464,492	435,508	
使用料及び賃借料	677,000	0	677,000	503,626	173,374	
横浜市への支払分	112,000		112,000	120,528	△ 8,528	
その他	565,000		565,000	383,098	181,902	
備品購入費	100,000		100,000	3,899,516	△ 3,799,516	写真展示用アルミフレーム約37万等、エントランス用モニター約20万、耐火金庫約33万等
図書購入費	200,000		200,000	38,766	161,234	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	44,500	5,500	
職員等研修費	10,000		10,000	31,000	△ 21,000	
振込手数料	190,000		190,000	148,176	41,824	
リース料	635,000		635,000	635,124	△ 124	
手数料	420,000		420,000	1,054	418,946	
地域協力費	36,000		36,000	36,000	0	
事業費	15,319,000	0	15,319,000	17,244,730	△ 1,925,730	
自主事業費	15,319,000		15,319,000	17,244,730	△ 1,925,730	横浜音祭り事業追加等
管理費	65,879,000	0	65,879,000	61,738,009	4,140,991	
光熱水費	15,233,000	0	15,233,000	6,934,845	8,298,155	
電気料金	11,000,000		11,000,000	4,661,938	6,338,062	入札およびデマンド抑制等による減
ガス料金	3,503,000		3,503,000	1,690,235	1,812,765	
水道料金	730,000		730,000	582,672	147,328	
清掃費	7,560,000		7,560,000	7,560,000	0	
修繕費	1,000,000		1,000,000	486,224	513,776	
機械警備費	390,000		390,000	388,800	1,200	
設備保全費	41,660,000	0	41,660,000	46,368,140	△ 4,708,140	
空調衛生設備保守	541,000		541,000	547,949	△ 6,949	
消防設備保守	324,000		324,000	464,400	△ 140,400	
電気設備保守	406,000		406,000	325,296	80,704	
害虫駆除清掃保守	1,130,000		1,130,000	1,242,324	△ 112,324	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	39,259,000		39,259,000	43,788,171	△ 4,529,171	収蔵庫高性能フィルター設置約150万、可動壁修繕約130万、監視カメラ増設約90万、作品保管室照明増設約50万、送迎車委託費等
共益費	36,000		36,000		36,000	
公租公課	5,310,000	0	5,310,000	5,097,047	212,953	
事業所税			0	15,847	△ 15,847	
消費税	5,300,000		5,300,000	5,052,800	247,200	
印紙税	10,000		10,000	28,400	△ 18,400	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	6,700,000	0	6,700,000	6,700,000	0	
本部分	6,700,000		6,700,000	6,700,000	0	
当該施設分			0		0	
支出合計	168,391,000	0	168,391,000	160,131,147	8,259,853	
差引	0	0	0	9,541,970	△ 9,541,970	